

**製品名: CCDC99 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab08124**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	70kDa

**抗原情報**

遺伝子名	CCDC99
別名	CCDC99; Protein Spindly; hSpindly; Arsenite-related gene 1 protein; Coiled-coil domain-containing protein 99; Rhabdomyosarcoma antigen MU-RMS-40.4A
遺伝子 ID	54908.0
SwissProt ID	Q96EA4
免疫原	抗血清はヒト CCDC99 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 541-590

**背景**

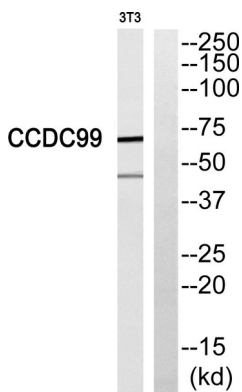
この遺伝子は、有糸分裂紡錘体の形成と染色体分配に機能するコイルドコイルドメイン含有タンパク質をコードしています。コード

されているタンパク質は、ダイニンタンパク質のリクルートメントを促進することで微小管への接着を調整する役割と、有糸分裂チェックポイントシグナル伝達において役割を果たします。 [RefSeq 提供、2016年7月]、有糸分裂姉妹染色分体分離、有糸分裂細胞周期のM期、有糸分裂紡錘体の配向の確立、微小管細胞骨格の構成、有糸分裂細胞周期、M期、核分裂、姉妹染色分体分離、細胞形態形成、細胞骨格の構成、微小管に基づくプロセス、細胞周期、染色体分離、有糸分裂、有糸分裂中期板会合、細胞極性の確立または維持、タンパク質の局在、細胞周期プロセス、細胞周期の段階、細胞極性の確立、細胞成分の形態形成、キネトコアへのタンパク質の局在、細胞タンパク質の局在、有糸分裂紡錘体の局在の確立、細胞小器官の分裂、染色体の局在、染色体の組織化、紡錘体の局在の確立、紡錘体の配向の確立、染色体の確立局在、中期板会合、細胞小器官の局在、紡錘体の局在、細胞小器官の局在の確立、細胞高分子の局在、

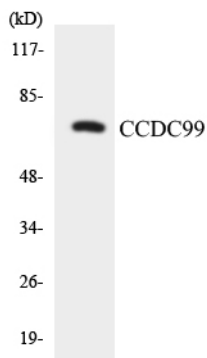
## 研究分野

-

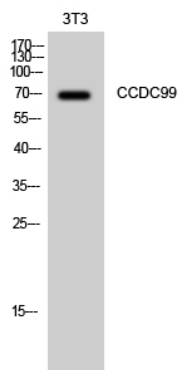
## 画像データ



CCDC99 抗体のウェスタンブロット解析。右レーンは CCDC99 ペプチドでブロッキングされている。



CCDC99 抗体を使用した K562 細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。



CCDC99 ポリクローナル抗体 (1: 1000 希釈) を用いた 3T3 細胞のウェスタンブロット解析